

『日本建築学会の技術者倫理教材(改訂版)』講習会

—技術者倫理…顕在化したもの—

主催——日本建築学会 倫理委員会

後援予定——日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、
日本建築家協会、日本建設業連合会、日本建築構造技術者協会、
建築設備技術者協会、日本技術士会、土木学会

主旨

2009年6月に『日本建築学会の技術者倫理教材』を刊行してから約5年が経過しました。その間、我々は東日本大震災(いわゆる3.11)を経験し、その後の社会情勢も変わりつつあることを考慮して、本会では、『日本建築学会の技術者倫理教材』の改訂作業に取りかかり、この度、改訂版を刊行し、講習会を企画しました。

本会では東日本大震災による社会状況の変化と、制定後10数年を経過していることを考慮して行動規範の改正に臨みました。大学院生、新入会者をはじめ会員が理解しやすいものにするという方針で検討をすすめました。本教材ではこの新しい倫理綱領・行動規範を紹介しています。併せて、3.11の後、エネルギー問題をはじめとする様々な価値観が変化しつつあること、建築の中の倫理に留まらず社会の中の建築倫理として考慮すべきであろうということによって教材の改訂を行っています。

本教材では、プロフェッショナルエンジニアの倫理を「技術の中に含まれる問題」と位置付けて改訂作業を進めました。「技術の中に含まれる倫理的課題」には、不確実性を伴う科学・技術的なリスクや、完全な因果論的決定論の中で議論することが困難な領域が存在しており、専門領域の知識によってのみでは判断できない状況にあることが多くなります。プロフェッショナルエンジニアは、そのような状況下で、適切に情報を選別し、最大限の知性を働かせて、他から強制されないで、倫理的課題に解答を与える「行為(Conduct)」を選択あるいは決定しなければなりません。

さらには、学術の世界でも、複雑化する現代社会において、建築教育の中で倫理をいかに教育システムの中に組み込んでいくか、が大変重要な課題となっています。本教材は、企業や研究機関、建築教育の現場においても、円滑に倫理教育が行えるよう意図して改訂されています。

建築倫理問題に直面した建築技術者が、いかに考え行動すべきかについて考える上で参考となるようなフィクションの学習事例を作成し掲載しております。今回の改訂作業では、掲載事例の修正、新たな事例の追加により8事例に厳選し、実際の業務の中で倫理的悩みに直面した建築技術者の葛藤を描き、実務において遭遇するであろう類似の状況を想定しながら、倫理的判断力を磨くために読者に活用してもらえようようにしました。

技術者倫理の重要性が、多くの技術者や将来建築関係事業に携わる学生諸君に十分に理解されているとは言い難い状況のなかで、本教材が技術者倫理の正しい理解と普及の一助となることを望んでおります。建築家をはじめ、構造・設備技術者、将来の建築家・技術者たる学生諸君、および彼らを育成する教員各位におかれましては、奮ってご参加くださるようお願いいたします。

参加費(テキスト代含む)

1. 日本建築学会会員 7,000円、2. 後援団体会員 9,000円、
3. 会員外(1,2以外) 12,000円

テキスト

『日本建築学会の技術者倫理教材』(改訂版) B5判、約220頁

申込み方法(参加申込書の注意事項も併せてご一読ください)

下記いずれかの方法でお申し込みください。なお、お電話での申し込みは受け付けておりません。

1. WEBからの申込み
・日本建築学会ホームページ(<http://www.aij.or.jp/>)の「催し物・公募一覧」からお申し込みください(参加申込書と参加券送付用封筒の郵送は不要)。
2. 参加申込書(郵送)による申し込み
・参加費をお支払いのうえ、必要事項を明記した参加申込書(裏面)と参加券送付用封筒(82円切手貼付、宛名記入)を同封し、お申し込みください。

開催地・期日・会場・定員・申込方法・申込先・参加費支払い方法

| 開催地 | 開催日 | 定員 | 会場 | 申込方法 | 参加費支払い方法 |
|-----|------------------|------|----------------------------|--|---|
| 東京 | 2014年 5月9日(金) | 150名 | 建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20) | 1. WEB申込み 日本建築学会ホームページ https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=752 からお申し込みください。 2. 参加申込書による申込み 日本建築学会事務局 「技術者倫理教材」講習会係 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL: 03-3456-2052 | クレジットカード決済 ※領収書は原則、カード会社発行の「利用明細書」をもって代えさせていただきますが、必要な方は左記講習会係へご連絡ください。 銀行振込 三菱東京UFJ銀行京橋支店 普通預金口座 2318455 シヤ)ニホンケンチュクガツカイ 現金書留 |

プログラム

| 時間 | 13:30～13:40 | 13:40～13:55 | 13:55～14:25 | 14:25～15:45 | 16:00～16:30 | 16:30～17:00 |
|----|-------------------|------------------------|--------------------------|-------------------------------------|----------------|-------------------|
| 内容 | 主旨説明 | 本会倫理の輪郭 「倫理綱領・行動規範」 | 本会倫理の輪郭 「建築倫理小委員会の活動」 | 技術者倫理の輪郭 「典型規範/技術者の倫理環境/倫理的意思決定」 | 建築倫理事例について | 技術士・FE試験問題について |
| 講師 | 松藤泰典 (北九州市立大学) | 若井正一 (日本大学) | 石川孝重 (日本女子大学) | 松藤泰典 (前掲) | 関田徹志 (鹿島建設) | 高巢幸二 (北九州市立大学) |

※講師は都合により変更となる場合がございます。

講習会参加申込書

| | | | | |
|--|---|------------------------------|------|---|
| 講習会名・会場 | 「日本建築学会の技術者倫理教材(改訂版)」講習会 | | | |
| 参加者*1 | フリガナ | | 会員番号 | |
| | 氏名 | | | |
| 会員区分*3 | <input type="checkbox"/> 日本建築学会会員（個人会員／法人会員・賛助会員*2） <input type="checkbox"/> 後援団体会員（団体名・No.等） <input type="checkbox"/> 上記以外 | | | |
| 勤務先名 | | 所属部署 | | |
| 所在地 | 〒 | | | |
| 電話 | | FAX | | |
| E-mail | | | | |
| 参加費 | 円 | | | |
| 支払方法・ 申込方法*3*4 | <input type="checkbox"/> 銀行振込： 指定口座に入金のうえ、申込書（振込銀行欄記入または振込明細書コピー貼付）と参加券送付用封筒（80円切手貼付、宛名記入）を同封し、お申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。 | | | |
| | <input type="checkbox"/> 現金書留： 本申込書と参加券送付用封筒（80円切手貼付、宛名記入）を同封し、参加費を添えてお申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。 | | | |
| 振込元銀行 (右欄記入の代わりに、振込明細書コピーを貼付いただいても結構です) | 銀行名・支店名 | 銀行 | 支店 | |
| | ご依頼者(社)名 | | | |
| | 振込日 | 年 | 月 | 日 |
| | 振込金額 | 円（他と合算送金の場合は、通信欄へ内訳をご記入ください） | | |
| 関連催し物のご案内 | <input type="checkbox"/> 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 （今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。希望されない方は、口に✓を記入してください） | | | |

*1：同一組織での複数名によるお申し込みの際は、参加者全員の①氏名（フリガナ）、②会員番号、③会員区分を通信欄にご記入いただければ、申込書は1枚で結構です。

*2：法人会員・賛助会員は、1口につき5名を会員扱いとします。

*3：該当区分の口に✓を記入してください。

*4：参加費の払い戻しはいたしません。なお、振込手数料は申込者にてご負担ください。

通信欄